

課・係	目標	内容
生活環境課	関連各施設の適正管理・安全稼働	①作業事故ゼロ ②ペットボトルセンターの安全処理(プラ分別不良の解消30%)
生活環境課	環境美化推進員制度の順調な立ち上げ	①自治会長への推薦の依頼 ②制度の周知 ③研修会の実施 ⇒ 目標:推進員総数800人、組織数8、制度の説明会6回、クリーナップ活動数20件、啓発活動数24回
生活環境課	老朽空き家対策の促進	①空家危険度判定の見直し ②空家所有者の調査・特定 ③諸法に基づく対応手法の検討・実施 ⇒ 解決目標空き家数:年度末までに20
衛生センター	効率的な施設稼働	①エネルギー消費の削減(昨年比 電気-8%、重油-5%、水道-10%) ②機器運転方法の見直し ③省エネ機器への改修
衛生センター	適正運転と維持管理	①稼働停止のない継続運転と施設整備 ②処理水の基準値厳守 ③衛星センター長寿命化計画への着手
衛生センター	安全で明るい職場	①作業事故ゼロ ②健康診断受診率100% ③7日以上連続しての病気休暇取得ゼロ ④施設内の緑化と5S活動の推進
地域づくり支援課	広範囲にわたる業務の効率的なお客様対応	①問合せ等の多い業務をマニュアル化するほか、内部研修を実施し、課員全員が最低限の初期対応ができるようにする ②主担当以外に、担当の兼務化を検討する ③データ等の関連資料を共有フォルダで可視化する。
地域づくり支援課	ふるさと納税制度の拡充。納税件数・寄付額ともに前年比4倍(10000件・2億円)を目指す。	①特典は市の魅力あふれるものへ拡充 ②応援市民へ市民証を発行し、ネットワーク化を図るとともに、応援人口、交流人口の拡大に努める ③新ポータルサイトなどへの加入を検討し、PRの強化に努める。
地域づくり支援課	移住定住の促進を図る	①関係団体との連携による情報発信の強化と総合的な受け入れ態勢の充実を図る ②首都圏で開催される移住相談会へ積極的に参加する ③市での暮らしを体験するツアーを企画し、市の魅力発信や交流人口の拡大と、移住定住の促進を図る。今年度目標=相談件数80件、定住者数3世帯。
地域づくり支援課	男女共同参画の推進	①市男女共同参画計画の策定・完成 ②推進員対象の研修会および市民向け啓発イベントの開催
地域づくり支援課	地域伝統芸能全国大会の成功	①県および関係団体等との綿密な打ち合わせにより、1週間単位のスケジュールを作成 ②庁内の明確な役割分担および打ち合わせを徹底 ③イベントの魅力のアピールする啓発活動の実践。目標⇒出演者等=1000人、観客数=30000人
生涯学習課	市民協働による地域づくりの拠点「地区交流センター」の整備=公民館の地区センター化の推進	①関係部署との連携・協議および予算の検討・調整のほか、公民館長・センター長および担当者による協議、地域づくり協議会への説明(4月~6月) ②施行14館の事業検証の実施、関係条例規則の調査・整備(6月~) ③政策会議等への検証結果報告と今後の方向性等の協議ののち、12
生涯学習課	市民ステージ祭、交流美術展の開催	目標⇒出演者500人、出店数150点以上、観客数2000人以上。
生涯学習課	生涯学習施設利用状況の把握、検証の実施。生涯学習施設の利用率向上。	①過去5年分程度の生涯学習施設利用者数の推移、施設維持経費、使用料金体系、使用料収入、減免金額等についての集計資料の作成 ②設備予約システムの利用方法整理 ③施設PR、集客イベントの実
スポーツ振興課	スポーツ立市推進事業	①ニュースポーツ(スマイルポーリング、フロアカーリング等)の大会や講習会への参加と必要備品の拡充 ②市の魅力(観光・文化・食事等)を網羅した複合型スポーツイベントの開催 ③日本が誇れるトップアスリートやスポーツ指導者の創出ををめざし、スポーツ関係団体や指導者の要望による講習会や講演会の実施
スポーツ振興課	スポーツのまちづくり事業	①各種スポーツ団体主催による全市民を対象とするスポーツ大会(10種目以上)の主催 ②スポーツ事業に他の関係部局の施策を複合的に組み入れたイベント(3回以上)の開催 ③全国に市を宣伝できるイベント(3回以上)の開催や著名チームの合宿(5団体以上)の誘致
スポーツ振興課	市民スポーツの活性化を目的としたイベント支援。市民の健康づくりや地域の活	①全市一体感のある統一的なスポーツイベントの開催(例:マラソン) ②市民参加型の種目別スポーツ大会(市民スポーツフェスティバル)の開催。
スポーツ振興課	東京オリンピック・パラリンピック ホスタウン構想	①ホスタウン登録申請への申し込み(5/10). ②対象外国チームの誘致のための折衝。